

一人で悩まずに お電話を
生活相談・労働相談／弁護士無料法律相談
電話 72-7816

明るい取手

2012年1月15日(日)

発行:日本共産党取手市委員会
取手市井野3-19-6 TEL.72-7816
メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長 / 電話74-2004
- 林みやこ市議 / 電話78-8481
- 遠山ちえ子市議 / 電話83-8290
- 加増みつ子市議 / 電話74-8154
- 鈴木潔暮らしの相談室長 / 電話74-8160
- 関戸勇防災・環境対策室長 / 電話78-0500

除染活動と健康・食品安全対策を求め要望

日本共産党、林みやこ・加増みつ子・遠山ちえ子市議、鈴木きよし・せきど勇氏は、1月11日、取手市に対し放射能対策についての要望書(署名1314筆)を提出しました。

取手市側は、放射能対策委員会担当部・次長、政策推進部長、教育部長が対応しました。提出した要望書は、別掲の7項目です



- ①0.6 マイクロシーベルトを超える場所はただちに除染すること。
- ②民有地の測定・除染に手引書、器具の貸出、援助と費用負担を行い、市内事業所に除染対策を求めること。
- ③食品検査器を学校区単位に拡充すること。
- ④市内病院にホールボディカウンター設置を求めること。
- ⑤子どもの健康調査を無料で実施すること。
- ⑥すべての放射能対策の費用負担を国と東電に求めること。
- ⑦東海第2原発の再開に反対表明をすること。

要望書に対して、18日までに取手市から文書で回答される予定です。11日の懇談の概要をお知らせします。

「除染計画」策定は2月初め

担当部長から、「現在除染計画策定のための汚染マップ作りに市政協力員(自治会・町内会)の協力により、全市的な線量測定を行っていること。除染計画は、国のガイドラインに従い2月の初めごろには完成予定。国と協議のうえで除染実施計画を策定し2年間の目標で、追加被爆線量を年1ミリシーベルト(1時間当たり0.23マイクロシーベルト)以下を基準に効果的な除染を行う。とし、又、除染の優先順位について、子ども・乳幼児の接する所を優先し、公園・道路等国と協議の中で具体化する。民有地の除染は、次の段階となる」と答えました。

尚、「0.6マイクロシーベルトを超えるとこ

ろの除染については、高い数値のところから除染し、下がらないところは表示もしくは閉鎖する」としています。

ホールボディカウンター設置について医療機関と協議

食品検査器については、「4月以降国の基準値が変わることから、現在1台ある食品検査器を新基準値に対応するものへの切り替え、もしくは新検査器の貸与を消費者庁に求める。新機種購入についても検討するが台数の拡充については未定」と答えました。ホールボディカウンターを設置することについて、担当部長は「関係機関と協議する」としています。

「除染」の促進、「内部被ばく」対策を

日本共産党の放射能汚染対策についての要望は、国・県、直接東電に対して行っていますが、取手市への要望は、昨年11月18日の原発事故・放射能汚染対策に関する要望書(署名1200筆)提出に続き今回で5回目の要望となりました。

日本共産党は、遅れている除染の促進とともに、子どもの健康調査等内部被ばく対策の拡充、放射能対策に必要な費用のすべてを、国と東電に強く求めます。



引き続き実施中

放射線量の測定します

ご近所など測定ご希望の方は、日本共産党取手市委員会まで連絡ください。測定にかがいます。電話 / 72-7816

一人で悩まずに お電話を
生活相談・労働相談／弁護士無料法律相談
電話 72-7816



成人祭

8日、取手市成人祭が行われました。今年の新成人は1069名。

真実がわかり、明日への希望がわく「しんぶん赤旗」

お申込みは、日本共産党取手市委員会、電話72-7816まで ●日刊紙 3400円/月 ●日曜版 800円/月